

## むつ市議会第208回定例会会議録 第1号

### 議事日程 第1号

平成23年6月7日（火曜日）午前10時開会・開議

#### ◎諸般の報告

- 第1 議席の変更
- 第2 会議録署名議員の指名
- 第3 会期の決定
- 第4 議会運営委員会の選任
- 第5 一部事務組合下北医療センター議会議員の選挙
- 第6 行政報告

#### 【議案一括上程、提案理由説明】

- 第7 議案第20号 平成23年度むつ市一般会計補正予算
- 第8 報告第7号 平成22年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書
- 第9 報告第8号 平成22年度むつ市一般会計事故繰越し繰越計算書
- 第10 報告第9号 平成22年度むつ市国民健康保険特別会計事故繰越し繰越計算書
- 第11 報告第10号 平成22年度むつ市介護保険特別会計事故繰越し繰越計算書
- 第12 報告第11号 平成22年度むつ市下水道事業特別会計事故繰越し繰越計算書
- 第13 報告第12号 平成22年度むつ市水道事業会計継続費繰越計算書
- 第14 報告第13号 専決処分した事項の報告について  
(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
- 第15 報告第14号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(平成22年度むつ市一般会計補正予算)
- 第16 報告第15号 専決処分した事項の報告について  
(和解及び損害賠償の額を定めることについて)
- 第17 報告第16号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 第18 報告第17号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例)
- 第19 報告第18号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(むつ市半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)
- 第20 報告第19号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(旧川内町、旧大畑町及び旧脇野沢村過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)
- 第21 報告第20号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて

(むつ市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)

第22 報告第21号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(平成22年度むつ市後期高齢者医療特別会計補正予算)

第23 報告第22号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(平成22年度むつ市老人保健特別会計補正予算)

第24 報告第23号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(平成23年度むつ市一般会計補正予算)

第25 報告第24号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(むつ市税条例の一部を改正する条例)

第26 報告第25号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて  
(平成23年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（28人）

1番	鎌田	ちよ子	2番	上路	徳昭
3番	新谷	泰造	4番	工藤	孝夫
5番	横垣	成年	7番	菊池	広志
8番	新谷	功	9番	澤藤	一雄
10番	石田	勝弘	11番	馬場	重利
12番	岡崎	健吾	13番	山本	留義
14番	千賀	武由	15番	白井	二郎
16番	富岡	修	17番	大瀧	次男
18番	目時	睦男	19番	野呂	泰喜
20番	川端	一義	21番	高田	正俊
22番	山崎	隆一	23番	浅利	竹二郎
24番	村川	壽司	25番	中村	正志
26番	佐々木	隆徳	27番	半田	義秋
28番	富岡	幸夫	29番	斉藤	孝昭

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	宮下	順一郎	副市長	野戸谷	秀樹
教員	高瀬	厚太郎	教育長	遠島	進
公営企業 管理	遠藤	雪夫	代監査委員	小川	照久
選挙管理 委員長	畑中	政勝	農委員	立花	順一
総務部	伊藤	道郎	財務部長	下山	益雄
民生部長	奥川	清次郎	保健福祉 部長	松尾	秀一
経済部長	中嶋	達朗	建設部長	山本	伸一
川内庁舎 所長	布施	恒夫	大畑庁舎 所長	若松	通
協野沢 庁舎所長	高坂	浩二	会管総政理 出納室	大橋	誠
			計者務部 事務部長		

選挙管理委員会  
事務局長

成田晴光

監査委員  
事務局員

石田武男

農委事務局  
農業局長

手間本富士雄

営企業長  
公局下部水道

齊藤鐘司

総政推進  
策進部

花山俊春

財政推進  
務進部

石野了

民政推進  
策進部

竹山清信

総政総務  
策課

柳谷孝志

総政総括  
策務主幹

野藤賀範

総政企画  
策調

高橋聖

総政防災  
策政

工藤初男

財政課  
務課

氏家剛

民環課  
生政

金浜盛雄

民環政総  
括主幹

加藤博

総政総主  
策務

栗橋恒平

事務局職員出席者

事務局長

須藤徹哉

次長

澤谷松夫

総括主幹

濱田賢一

主任主査

小林睦一

主任主査

石田隆司

主任主査

小村口

## ◎開会及び開議の宣告

午前10時00分 開会・開議

○議長（富岡幸夫） ただいまからむつ市議会第208回定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員は28人で定足数に達しております。

これから本日の会議を開きます。

## ◎諸般の報告

○議長（富岡幸夫） 議事に入る前に諸般の報告を行います。

まず初めに、去る5月30日開催されました東北電力株式会社東通原子力発電所視察に参加した議員20名については、会議規則第159条第1項のただし書きにより、議長が出席議員の派遣を承認しておりますので、ご了承願います。

次に、地方自治法第121条に基づく今定例会への説明員の出席者については、お手元に配布の名簿のとおりであります。

次に、監査委員から、地方自治法第235条の2第3項の規定に基づく例月出納検査の結果報告がありました。なお、関係書類は事務局に保管しておりますので、ご閲覧願います。

次に、本日市長から、工事請負契約に係る入札結果資料が提出されましたので、お手元に配布しております。

次に、本日市長から、地方自治法第243条の3第2項の規定に基づく地方公共団体が出資する法人の経営状況を説明する書類の提出がありましたので、お手元に配布しております。

次に、市議会議長会等の会議結果につきましては、お手元に配布の報告書のとおりでありますので、ご了承願います。

次に、本日この後、東北地方太平洋沖地震津波の対応について及び脇野沢赤坂地区における不法投棄について市長から行政報告がありますので、ご了承願います。

以上で諸般の報告を終わります。

○議長（富岡幸夫） 本日の会議は議事日程第1号により議事を進めます。

## ◎日程第1 議席の変更

○議長（富岡幸夫） 日程第1 議席の変更を議題といたします。

会議規則第4条第3項の規定により、お手元に配布の議席図のとおり、議席の一部を変更したいと思います。

変更となる議席番号及び氏名を職員に朗読させます。

（事務局長議席番号・氏名朗読・別紙議席表）

○議長（富岡幸夫） お諮りいたします。

ただいま朗読したとおり、議席の一部を変更することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） ご異議なしと認めます。よって、ただいま朗読したとおり、議席の一部を変更することに決定いたしました。

それでは、ただいま決定いたしました議席にそれぞれ着席願います。

暫時休憩いたします。

午前10時04分 休憩

午前10時05分 再開

○議長（富岡幸夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

## ◎日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（富岡幸夫） 日程第2 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第82条の規定により、6番澤藤一雄議員及び26番菊池広志議員を指名いたします。

## ◎日程第3 会期の決定

○議長（富岡幸夫） 次は、日程第3 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から6月24日までの18日間としたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日から6月24日までの18日間と決定いたしました。

## ◎日程第4 議会運営委員の選任

○議長（富岡幸夫） 次は、日程第4 議会運営委員の選任を行います。

本件は、2名の欠員が生じたので、これを補充するため行うものであります。

お諮りいたします。議会運営委員の選任については、委員会条例第8条第1項の規定により、白井二郎議員及び菊池広志議員を指名したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました白井二郎議員及び菊池広志議員を議会運営委員に選任することに決定いたしました。

## ◎日程第5 一部事務組合下北医療センター議会議員の選挙

○議長（富岡幸夫） 次は、日程第5 一部事務組合下北医療センター議会議員の選挙を行います。

本件は、むつ市議会選出の組合議員に1名の欠員が生じたので、これを補充するため一部事務組合下北医療センター規約第5条第2項の規定に基づき選挙するものであります。

お諮りいたします。選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選とし、議長から指名したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） ご異議なしと認めます。よって、選挙の方法については指名推選とし、議長から指名することに決定いたしました。

一部事務組合下北医療センター議会議員に菊池広志議員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました菊池広志議員を一部事務組合下北医療センター議会議員の当選人と定めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） ご異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました菊池広志議員が一部事務組合下北医療センター議会議員に当選されました。

ただいま一部事務組合下北医療センター議会議員に当選されました菊池広志議員が議場におられますので、本席から会議規則第32条第2項の規定により告知いたします。

## ◎日程第6 行政報告

○議長（富岡幸夫） 次は、日程第6 行政報告を

行います。

市長から報告を求めます。市長。

(宮下順一郎市長登壇)

○市長(宮下順一郎) おはようございます。まず、東北地方太平洋沖地震津波の対応につきましてご報告いたします。

平成23年3月11日、午後2時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、宮城県栗原市では最大震度7を観測したほか、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県33市町村で震度6強を観測しました。

この地震により発生した大津波は、北海道、東北、関東に至る太平洋沿岸の各地を襲い、警察庁の発表によりますと、死者、行方不明者が2万3,000人を超えるという未曾有の大災害となっております。加えて、東京電力福島第一原子力発電所の事故においては、多くの住民がふるさとを離れての避難を強いられており、東京電力から「事故の収束に向けた道筋」が示されたものの計画どおり収束できるかについて、多くの専門家等から懸念が示され、先行きが不透明な状況にあります。

当市においては、むつ地区及び川内地区で震度4、大畑地区及び脇野沢地区で震度3が観測され、この地震、津波により市内全域が長時間にわたり停電するとともに、一部地域での断水や漁業関係、学校施設などに被害があったものの、人的被害はなく、他の被災地に比べますと比較的軽い被害となっております。

このたびの大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々、今もなお避難所生活を余儀なくされている方々に対しまして、謹んでお見舞い申し上げます。

市では、地震発生直後、ただちに「むつ市災害対策本部」を設置し、被害状況等の把握に努めるとともに、大津波警報が出されたむつ地区及び大畑地区の太平洋沿岸地域に避難指示を発令、また

津波警報が出されたむつ地区、川内地区及び脇野沢地区の陸奥湾内沿岸地域に避難勧告を発令し、住民に避難を促しました。

今般の東北地方太平洋沖地震及び津波の発生に伴う市の対応につきましては、報告書のとおりでございますが、主なものをご説明申し上げますと、まず住民の避難状況についてであります。大津波警報が出された太平洋沿岸地域では、避難対象者6,705人に対して、避難者921人、避難率13.7%、津波警報が出された陸奥湾沿岸地域では、避難対象者2万670人に対して避難者721人、避難率3.5%であり、市内全体では避難対象者2万7,375人に対し、避難者1,642人、避難率6%でありました。津波による人的被害はなかったものの、今後避難率の向上を図るため、地震発生時の対応や、津波警報等が発表された場合の早期避難等について、市政だより、市ホームページに掲載するなどして、住民に周知啓蒙を図ってまいります。

次に、災害時用資機材の整備、物資等の備蓄についてであります。地震発生直後から長時間にわたり停電となり、避難所では照明、電気ストーブなどの使用が不可能であったことから、避難所に避難されてきた住民の方々は、不安な中で時間を過ごしたと推察いたします。

今後避難所用の食料品、飲料水の備蓄、停電時の対応としての非常用発電機、懐中電灯、ストーブ、ラジオ等を計画的に配備していくこととしております。

また、住民に対しては、災害時の際の非常食、懐中電灯等の最低限の非常用持ち出し品を住民個々の心がけとして常日ごろから準備しておくことの必要性などについて啓蒙を図ってまいります。

その他の事項につきましては、報告書のとおりでございますので、割愛させていただきますが、このたびの未曾有の被害をもたらした大震災を教訓として、今後の防災対策全般に万全を期して危

機管理に努めてまいり所存でありますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます次第であります。

次に、脇野沢赤坂地区の不法投棄事案につきまして、去る2月25日開会のむつ市議会第207回定例会に報告した後の市の対応等についてご報告いたします。

去る2月3日、3月3日及び4月14日に実施いたしました環境調査についてであります。すべての調査項目について、環境基準または排水基準に適合しておりました。

今後につきましては、継続して調査を行い、経過を観察してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

次に、公害対策、放射性廃棄物保管施設における安全対策及び交通問題対策に関する経過報告について、担当部長から報告いたします。

○議長（富岡幸夫） 民生部長。

○民生部長（奥川清次郎） おはようございます。

それでは、公害対策に関することのうち民生部が所管いたしております事項についてご報告申し上げます。

まず、公害の発生状況であります。去る2月25日に開会されましたむつ市議会第207回定例会以降、6月6日現在まで公害の発生はありませんでした。

次に、河川等水質測定結果につきましては、お配りいたしました河川等水質検査資料のとおりであります。資料1ページの環境基準の水域類型指定河川であります川内川、大畑川、田名部川及び小荒川につきましては、すべての河川において基準値を満たしておりました。

次に、資料2ページのその他の河川の水質測定結果についてであります。これらの河川につきましては、特に環境基準の定めはありませんが、環境基準の水域類型指定河川の基準値と比較いた

しますと、明神川のDO、BOD、正津川のpHの値が基準値を満たしておりませんでした。他の河川は、いずれも基準値を満たしておりました。

次に、資料3ページの市と公害防止協定を結んでおります日本ホワイトファーム株式会社及び日本ピュアフード株式会社の排出水の水質測定結果につきましては、2社ともすべての項目において協定書に定める基準値以下でありました。

次に、資料4ページのアツギ東北株式会社むつ事業所の排出水の水質測定結果につきましては、すべての項目において基準値以下でありました。

以上で公害の発生状況、河川の水質検査についての報告を終わります。

○議長（富岡幸夫） 総務政策部長。

○総務政策部長（伊藤道郎） それでは、続きまして放射性廃棄物保管施設における安全対策に関する経過報告でございます。平成23年2月25日の経過報告以降、放射性廃棄物保管施設における安全対策に関する動きはございませんでした。

また、3月11日の東北地方太平洋沖地震並びに4月7日の地震においても放射性廃棄物の保管状況等に異常はなかったとの報告を受けております。

続きまして、交通問題対策について、平成23年2月25日の経過報告以降の経過をご報告申し上げます。

まず、JR東日本大湊線問題についてでございますが、強風による運休等の状況につきましては、平成23年2月から4月までの3カ月間では、規制日数は4日、遅延本数は4本、運休本数は14本でございました。なお、この期間においては、3月11日発生 of 東北地方太平洋沖地震及び4月7日発生 of 地震の影響によりまして、合わせて270本が運休しております。

また、前回までの行政報告では規制日数、規制本数、運休本数という形でご報告させていただ

ておりましたが、このたびJR側から、これまでの大湊駅からいただいておりますデータではなく、JR東日本盛岡支社青森支店から出されているデータに統一するというような方針が示されましたことから、今回のご報告から規制本数のところを遅延本数という形に改めさせていただいております。

規制と遅延の違いでございますけれども、規制は風速20メートル以上により速度規制がかかった本数でありまして、おくれた時間に関係なく規制の対象となった数を計上しているものでございます。

これに対しまして、今回からの遅延本数につきましては、JRの説明によりますと、定刻よりおおむね30分以上おくれて終点に到着した列車の本数というようなことでございまして、総体的にこれまでの規制本数より遅延本数は少なくなるものでございます。

次に、青森県鉄道整備促進期成会総会が去る5月17日に開催され、平成23年度の予算、事業計画について、原案どおり承認されております。

事業内容といたしましては、アクセス列車の整備、奥羽本線、大湊線、五能線の利便性向上及び県内各線の輸送サービスの改善、充実となっております。

大湊線については、利便性向上のための増便などについて働きかけていくこととしております。

次に、要望活動につきましては、来る7月26日に開催予定の平成24年度の青森県への重点要望説明会におきまして、下北総合開発期成同盟会として強風対策並びに青森直通便の増便、野辺地駅における青い森鉄道線とJR大湊線との接続の利便性の向上について県へ支援をお願いすることとしております。

次に、2点目の下北半島縦貫道路の建設促進対策についてでございます。下北半島振興促進連絡

協議会総会が去る4月14日に開催され、平成23年度の予算、事業計画について原案どおり承認されております。

事業内容といたしましては、要望活動の展開、全国協議会主催の各種事業への参加、地域情報の発信となっております。特に下北半島縦貫道路の建設促進及び国道279号の国直轄移管につきましては、半島振興施策上最重要課題と位置づけ、早期実現のために関係機関に対して要望活動を展開することとしております。

次に、要望活動につきましては、下北半島縦貫道路の整備促進等につきまして、平成23年5月15日、民主党に対し、市議会と合同で要望しております。

また、来る7月26日に開催予定の平成24年度の青森県への重点要望説明会におきまして、下北総合開発期成同盟会として下北半島縦貫道路の建設促進及び国道279号の国直轄移管について要望することとしております。現在むつ南バイパスと野辺地町から六ヶ所村までの有戸北バイパス及び六ヶ所村から横浜町までの吹越バイパスについて県により整備が進められておりますが、このうちむつ南バイパスに係る平成23年度における工事計画につきましては、既に施工されております田名部川にかかる橋りょうの土手内側橋台周辺の軟弱地盤対策の改良工事及び終点側約1.7キロメートルの盛り土が施工される予定となっております。

以上でございます。

○議長（富岡幸夫） これより質疑を行います。質疑は、それぞれ区分して行います。

まず、東北地方太平洋沖地震津波の対応についての報告に対する質疑を行います。次に、脇野沢赤坂地区における不法投棄についての報告に対する質疑を行います。次に、公害対策に関する報告の部分、続いて報告以外の公害対策に関する質疑を行います。次に、放射性廃棄物保管施設におけ

る安全対策に関する報告の部分、続いて報告以外の放射性廃棄物保管施設における安全対策に関する質疑を行います。その後、交通問題対策に関する報告の部分、続いて報告以外の交通問題対策に関する質疑を行います。

まず、東北地方太平洋沖地震津波の対応についての報告に対し、質疑ありませんか。4番工藤孝夫議員。

○4番（工藤孝夫） 対応の結果が報告されましたけれども、あわせて1から9まで、図る、図る、図るといふことで、今後こうやりますというふうに書かれてありますけれども、これは今後の方向性を示したものだといふふうに理解すればよろしいですか。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） そのとおりでございます、今後今定例会にも補正予算として、その図るの部分も多く計上させていただいております。また、専決等々でも対応した部分もございます。これからそういうふうな意味で災害に強いまちづくりに向けた形の中で議会のほうに予算等を提案させていただきご審議をいただきたいと、そしてまたご理解を賜りたいと、このように考えております。

○議長（富岡幸夫） 4番。

○4番（工藤孝夫） これに基づいて改めて防災に関する計画の策定、新たな計画の策定、これをやる意思はありますか。

○議長（富岡幸夫） 総務政策部長。

○総務政策部長（伊藤道郎） 防災計画の見直しの部分についてのご質疑でございますけれども、現在のむつ市地域防災計画、風水害編、地震編、原子力編とございます。風水害編、地震編は平成19年度に修正されております。また、原子力編につきましては、平成15年度に作成されているものでございます。

風水害、地震編につきましては、市役所の組織

の変更とか避難場所等見直し等によりまして、修正する必要があると認識しておりますことから、今後対応してまいりたいと思っております。

また、原子力編につきましては、現在の原子力編は東通原子力発電所のみを対象としております。今後動き出すことになるであろう大間原子力発電所、そして中間貯蔵施設というような部分が入っておりませんので、それらを含めた計画とするような見直し作業について、現在見直しの作業に入った段階でございますけれども、今回このような福島の事故がございましたので、作業を中断しているというような状況でございます。

以上でございます。

○議長（富岡幸夫） 4番。

○4番（工藤孝夫） なぜこのことをお聞きするかといいますと、東日本大震災が起こった後に各戸に地震防災ハザードマップというのが配布されました。これは、作成はたしか平成22年11月だといふふうに書かれてあります。ちなみに、川内の場合を見ますと、避難所が1カ所なのです。ですから、この報告書をもってして、これで事足りるよということにはならないと思うので、改めてちゃんとしたものを、東日本大震災を受けてのものを作成するのかとあえて聞いたわけです。この点は、一般質問でもお聞きしたいといふふうに思っておりますので、再度確認しておきたいといふふうに思います。

○議長（富岡幸夫） 建設部長。

○建設部長（山本伸一） 議員おっしゃるように、あれは建設部所管でつくった地震対策のものでございまして、昨年度の事業としてやったものでございます。それを3.11の大震災の前に本当は配布したかったのがございますけれども、諸般の事情がございまして、その地震の後になってしまったというのが実情でございます。

それで、おっしゃるように、あの後かなりご指

摘も受けました。それで、担当部署とももう一度これはきちんとしたもので見直さなければいけないだろうということで、その辺を進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。13番山本留義議員。

○13番（山本留義） 今回の津波、避難地域の避難率がすごく低いのですけれども、その辺市長、これから啓蒙していくということなののですけれども、その辺においてどのような啓蒙を、ただ言葉で言うのか、またいろいろな形の中の、例えば写真とかそういうのを含めた、地域でそういう説明会を開きながらするのか、その辺をどう考えているのですか。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 避難率は、低いというふうな思いはあります。他地域と比べて、そんなに高いわけでもないし、低いわけではないと、こういうふうな評価を私はしております。前回のチリ地震大津波のときよりも高くなっているというふうなことでございます。

では、今後どういうふうな形で避難率を上げていくのか、誘導していくのかというふうなことでございますけれども、さまざまなチャンネルを使いまして啓蒙を進めていかなければいけないだろうと、こんな思いをしております。まず手始めに、先般報道されましたように、津波に対しての、この今いる場所、大体標高どのくらいだろうかというふうな海拔表示、これも早速手がけました。これは、順次大畑地区から始まり、そして今関根地区、そしてその海岸線から今度避難に向ける道路、上っていく道路、そういうふうなところ、そしてまた避難所の高さの標高表示、そういうふうなもの、これも順次進めていき、そしてまた陸奥湾内のほうも、これは進めていくと。そういうふうな

形でのまず意識を持ってもらうこと。

それから、防災行政用無線、なかなか聞きづらいというふうな部分がありました。今定例会でもそういうふうなところ、当初予算でも盛りさせていただきました。それは通していただきました。今回の補正予算でも4カ所だったでしょうか、難聴地域、そういうふうなもの、それに対しての手当てをさせていただくように計上させていただきました。

また、エフエムアジュール放送、これを通してさまざまな形の中で情報、ラジオが一番そういう意味では情報伝達方法としては、電池を使うラジオですけれども、それが一番安定しているのではないかというふうなこと。今般の大震災を経てさまざま反省している中で、そういうふうな手当ても補正予算で対応させていただきました。さらに、携帯電話が不通でございましたので、そういうことでは衛星携帯電話だとかさまざまな形の、そういうふうな情報を得るチャンネル、これをふやして行って、ぜひともその避難率向上に向けて啓蒙を進めていきたいと。

とにかくまず自らが避難をしていただくような自助というふうな、そういうふうな体制、その啓蒙をまず進めて、そして共助、公助というふうな形で、どういうふうな場面で我々行政ができるのかというふうなこと、これにしっかりと取り組んでいきたいというふうな決意を持っております。

また、これからの取り組みで、現在の被災地等々の情報なんかはもう報道で毎日流されているわけでございますので、あの津波の怖さ、そしてまた地震の怖さ、そしてまた地震の際の火災、そういうふうなものの意識は十分高まっておろうと思っておりますので、そういうふうな部分もさまざまな場面で、当然職員もそうですけれども、住民の皆様方にも理解を深めるような手法というふうなのは考えていかなければいけないだろうと。

また、防災の訓練、これもしっかりと対応して進めていきたいと、こういうふうに思っております。

○議長（富岡幸夫） 13番。

○13番（山本留義） 私避難した住民と話をしたのですけれども、実は私4月初めとこの前の土曜日の6月4日、前回は宮古市に行ってきました。今回釜石市と大槌町に行ってきたのですけれども、支援物資を運びながら行ってきたのですけれども、たくさんの住民と話をすることができました。

まず亡くなった方々、津波が来た、避難しなければならぬ、今回は想定以上の災害だったのですけれども、津波だったのですけれども、安易にここまでは来ないだろうという人たちが本当に大きな災害に見舞われたのです。向こうに2時間半ぐらいいてきたのですけれども、涙ばかり流してきました。そういう状況の中で、避難する人、これが少ないのに驚いて、今後の課題にしたいなど。その思いから今質疑したのですけれども。

また湾内、私の地域は湾内ですけれども、このデータ、結果報告を見ますと、私自分の地域の人たちを1軒1軒歩いて避難させたのですけれども、ここに近川中学校と書いてあるのですけれども、それはどこから聞いたのかわからないけれども、近川地区の人は一人も避難していないで、この近川中学校、浜奥内の住民の避難者なのです。その辺のことも、データもそういうことを見れば、これ本当に信じていいのかどうか。その辺をきちんと精査して、載せるのだったら、きちんとそういうデータを、正確なものを載せていただきたいと思います。その辺で、もし話があればどうぞ。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 山本留義議員には、本当にボランティアの気持ちを十分に発揮なされ、大槌町を初め各被災地に支援物資、寝具類等をグループの中でお届けになり、励ましをいただいたとい

うふうなお話を伺って、非常に敬服をいたしているところであります。心から、かわりまして御礼を申し上げたいと、このように思います。

今近川中学校の件が出ましたけれども、この部分で15名というふうな、この避難場所、私も避難所、かなりの箇所を、現場を見ました。名簿をとっているところと、そしてまた名簿をとっていないところ、名簿をとっていないところは余りなかったわけですけれども、そういうふうな部分で、どこの所在なのか。例えばその周辺の人だけがその避難所に来るのかというふうなこともなかなか把握できない部分がございます。近場ということですので、その地区の人だけに限らない形の中で避難をしているというふうな状況は多々見られました。その意味からして、1,600人くらいのその方々が本当に近場のところに行っているのか、それともまた近場でないところ、親戚縁者、それを頼っての避難をしているのか、そういうふうなところは、なかなかすべてを把握するというふうなことは無理でございます。そういうふうなことで、とにかく近いところに避難しようというふうな気持ちはずっと働いたのではないかと、こういうふうには思慮しておりますので、そういうふうなところはご理解をいただきたいなど、こう思っています。

近川中学校、私行きましたら、ガスのロックがかかっておりまして、それをただちに開いて炊き出しのほうの対応をすとか、そういうふうな取り組みもしてありましたことをご報告をさせていただきます。山本議員は各戸を回って避難を呼びかけたというふうなこと、心から感謝申し上げます。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。9番目時睦男議員。

○9番（目時睦男） 1点だけ、今回の地震津波の報告の部分についてお尋ねをしたいと思います。

今回の地震津波で、とりわけ太平洋沿岸、記載

されておりますように、地震についてはむつ、大畑地区、津波については川内、脇野沢地区も含めて警報が発令されたわけでありますが、その中で避難の状況については数字的に報告がされているわけでありますが、その中で歩行困難な高齢者なり病弱者、特に車いす等々を使用している方々、これらの市民の方々に避難誘導をどのようにしたのか。また、関連をして、会場をどのような形で対応したのかについて、まず報告をお知らせ願いたいと思います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 高齢者の方、病弱者の方の対応のあり方と、今後のこともあろうかと思えますけれども、十分これは対応していかなければいけないと、こういうふうな思いをいたし、さまざまな形の中で支援体制はとっていくと。

一例を申し上げますと、先般災害協定の中で今後の取り組み方として協定を結んだのは高齢者の老健だとか、そういうふうな施設と、約700人くらい収容できる形の中で協定を結びまして、いざ避難したときの対応というふうなもの、また補正予算のほうにも盛りさせていただきましたけれども、さまざまな物資等、これも高齢者施設、老健施設だとか、そういうふうなものに對しましての対応を計上させていただきました。

では、3.11のときはどうだったのか。実は、目時議員の地区のある方から私にメールが来ました。一例を申し上げますと、私の夫は寝たきりでいると。そして、そのときに消防団の方々が来ていったと、避難を呼びかけた。しかしながら、人数が足りないものだから、その奥さん、私にメールをよこした方なのですけれども、一緒に流されるというふうな覚悟を持って伝えたと。それを受けた消防団の方々が、消防署員とともに4名でしたでしょうか、自宅に来てくれて、そして老健施設のほうに落ちつかせてくれたというふうなお

話を聞きました。そういうふうな形で、消防団とまた地域の方々、そういうふうな形の中で連携をとって避難を誘導したというふうな一例もございました。しかしながら、ああいうふうな形の中での本当に強い地震、揺れ、そして津波警報と、こういうふうになりますと、まず自らを守らなければいけないというふうな気持ちが大いに働くと思います。その部分をしっかりと対応して、そして消防団だとか消防署、民生委員、そういうふうな形の中で協力をして、高齢者、それから病弱な方々、これに対応していただいたものと、このように思いますけれども、それらの検証につきましては、今後しっかりと対応していきたいと、こういうふうな思うところであります。

高齢者の方が、それは病弱者の方々、今民生委員、保健福祉部のほうでさまざまな名簿を確認しながら、民生委員と共有をしながら、ただしこれはプライバシーの問題がありますので、非常に微妙なところがありますけれども、大いに情報交換をしながら、どの家庭にどういうふうな方が病弱な方がいるのか、そういうふうなことを把握をしながら対応をしっかりとっていくというふうなつもりで臨んでいきたいと、こう思います。

○議長（富岡幸夫） 9番。

○9番（目時睦男） 今回の地震、津波等を経験する中で、参考にしながら、教訓にして、万全な対策というのをぜひとも構築をしていっていただきたい。

先ほど市長からの答弁もあつたわけでありますが、私のところにも二、三病弱者の夫婦が避難命令というか、警報が発令されて、防災無線の放送があつたけれども、しかし動けない状況の中から、避難をしないで津波が来たときには、もう命を失ってもやむを得ないと、このようなことで、家に閉じこもっていざるを得なかったと、こういうようなことを、結果として津波が押し寄せなかった

という結果の中でそういう思いをしたということのお話も伺っているわけであります。そういう面では、特にそういう方々についての手だてという部分について事前に掌握し、対応するという部分について、ぜひとも今後、今回の教訓を生かして対策を講じていくということが必要かと思いますので、具体的な今後の防災対策というか、等々含めた対策をぜひとも検討していただきたいというふうに思っております。

この部分については、一般質問でも取り上げさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。5番横垣成年議員。

○5番（横垣成年） 被害状況についてちょっとお聞きしたいというふうに思います。

この被害状況を見ると、やはり農林水産関係の部分の被害が大きいというふうに思うのですが、こういうふうに被害が生じたという、この報告はいいのですが、そこでこの被害に対して、例えば全部その被害を受けた方が保険だとか何とかいろいろ使いながら対応したのか、それともそれにすぐわれなかった部分についてはむつ市のほうで何らかの対応をとったのかというのがちょっと見えてこないその報告書なので、そここのところをもう少し説明してもらえればなというふうに思うのですが、よろしくお願ひいたします。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 具体的な事例を申し上げることはなかなか今資料を持ち合わせておりませんが、例えば被害の部分では補正予算の中で公共施設とそれに準じるもの、そういうふうなものは、今定例会に提案させていただきました補正予算の中に含まれております。

また、横垣議員も今お話しのように、漁船等、

そういうふうなものも被害がありました。その部分については、保険等で対応するというふうな報告を受けております。

以上です。

○議長（富岡幸夫） 5番。

○5番（横垣成年） 大ざっぱな報告だったのでありますが、今たまたま漁船だとかそういうのをおっしゃいましたが、ここには例えば関根浜漁業協同組合では底建て網、網が21カ所損傷したとか、あとさけ・ます飼育施設が損傷したとか、こういうところも書いてあるのですが、やはりこういったところなんかもどういう対応をしたのかというのもやっぱり報告として欲しいなというふうに思うのですが、そここのところ、大ざっぱな部分だけでもよろしいので、例えば酪農家なんかでも何か1週間ぐらい搾った乳を捨てたとかという話もありますから、そこら辺もどういうふうに対応したのかなというふうなところも教えてもらえればなと。

できれば、そういう個人的に被害を受けた方に対して、基本的に例えばむつ市としてこういう対策をしたよというような部分があれば、ちょっとお聞きしたいなと。先ほど言ったように、全部を保険だとか、そういうので対応したという報告はありましたけれども、例えば今回の地震に当たって、むつ市として独自にこういう支援だとか対応したとかというのがもしあれば教えてもらいたいなというふうに思います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 酪農業の方々からもさまざまな部分でお話がありました。まず電気が通らない、その部分で発電機を手配するとか、乳牛のほうの健康状態、搾乳ができないというふうなことで獣医さんに巡回してもらったり、そういうふうな形でただちにできるものは対応いたしました。

また、経済部門におきまして対応いたしましたのは、小規模事業者経営改善資金の部分で専決、これも議案のほうにのっかっておりますけれども、報告をしておりますけれども、小規模事業者経営改善資金の部分の利子を補給するとか、全額補給するとか、そういうふうなことで対応をとらせていただきました。

あとは、例えば学校施設、こういうふうな、先ほどお話ししましたように、公共施設については今定例会に上程させていただきました補正予算の中に入っておりますし、今後関根漁港の東防波堤、本土工破損と、こういうふうなものはさまざまな国からの災害対策というふうな形で果たされていくものであります。

○議長（富岡幸夫） 5番。

○5番（横垣成年） あとやはりこういうふうな被害に遭われた方は、例えば税金なんか支払うのがそれなりに大変な方もいるかなというふうにも思いますので、そこら辺の例えば市としての対応も何かあるのであれば、またやったのがあるのであれば、ちょっと教えてもらいたいなというふうに思います。やはりこういう災害というのは今後とも起こり得る可能性は十分ありますので、そういう意味では今回の災害を最大の教訓として、またむつ市がそういう被災を受けた方々に対して最善の対応をするような、やっぱりそういうふうなシステムを構築できればいいなというふうに思いまして、税金だとかそういうのの対応の面ではどうだったのでしょうかというのも最後お聞きしたいなというふうに思います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 手前どもは最善の対応をして、速やかに対応できるものは対応させていただいているつもりでございます。さまざまな部分で、例えば経済対策もございました。それから、災害対策本部が終結して、ただちにそれを支援対策本

部というふうなことで対応し、その支援というのは被災地に向かったの支援もあります。そしてまた地元、さまざまな部分での支援、そういうふうなこともありまして、税の減免だとか、そういうふうなものも、内容は詳しく今担当からお話をさせていただきましても、それらは速やかに対応したということでございます。

○議長（富岡幸夫） 財務部長。

○財務部長（下山益雄） 今ほど税の減免についてのお話でございますけれども、震災後に、ここに書いておりますとおり、例えば網の損傷ですとか、あるいは船の損傷等の事案について報告を受けてございます。ただ、私どもで聞いておりますのは、ある程度は保険で、加入しております共済保険で補てんされるというふうな話を伺っております。ただ、その部分で十分補てんされないという、これは税の減免の対象になるわけですので、その辺は適切に相談等で対応してまいりたいと、そういうふうにご考えてございます。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。27番 齊藤孝昭議員。

○27番（齊藤孝昭） 一連の質疑の内容は、ほとんどがその災害に遭われた方のことでありますが、私は被災地に対する行政の対応ということで質疑させていただきます。

地震発生後、津波もありましたが、復旧作業には消防または水道関係の仕事をされている行政職の方が応援に行かれているというのは市政日より等で十分知らされておりますが、今度は復興、ある程度めどがついてから、その復興の支援をするということで、国または県を通してむつ市に職員を派遣してほしいというふうな話があったはずですが、むつ市にはどれぐらいの人数の派遣要請が来て、どれぐらいの人数の方が派遣されて、期間はどれぐらいだったのかお知らせください。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 被災地支援でありますけれども、今齊藤議員お話しのように、消防、水道、そして保健師というふうな形で支援をし、また職員も派遣をいたしましたところでもあります。最初この職員の派遣につきましては、現地のほうでどういうふうな職員が必要なのか、それをマッチングする必要がございます。支援物資にしても、ただ一方的に、多分そうだろうというふうなことで、何でもかんでも送っても、これはなかなか被災地のほうで整理がつかない状況だと。これは、もうこれまでの震災、大地震、そういうふうな被災地からの声を十分聞いておりましたので、まず必要なものは何なのか、それをマッチングした中で支援物資は送るというふうな体制をとらせていただきました。これは、震災後ただちに市民の皆様方に呼びかけをしました、支援物資につきましては。まず限定をいたしました。毛布、タオルケット、これらが被災地で必要であるという自衛隊からの情報でありましたので、呼びかけました。トータルとして1,400枚くらい当時集まりまして、そのうち800枚から900枚、この部分においては自衛隊の車両でただちに被災地にお届けをしました。

また、食料品、こういうふうなものも必要だというふうなことでの被災地からの要望がありましたので、これらも食料品、2つの市町だったでしょうか、町村だったでしょうか、そういうふうな形で支援をさせていただいております。

職員の派遣につきましては、全国市長会のほうから、職員の呼びかけがございました。全国から約2,000人くらいの体制ができたというふうなことで伺っておりました。ところが、被災地のほうからの要望がまだ600人程度というふうなことで、需給のバランスが非常に大きかったものですので、我々としてはやはり市長会を通して全国的な組織の中で求められている部分、そういうふうな部分に派遣をするというふうな基本線、この形で

進めてきました。その中で保健師さん、そしてまた職員、そういうふうなものの派遣を続けてきたところでもあります。

一方的に送ると、派遣をするというふうなこと、それはやはりなかなか向こうの被災地の混乱を招く部分もありますので、十分そこのところは気を使いながら、要望にはしっかりとおこたえをしていきたいと、このように考えております。今後そういうふうなものがあれば、また対応していきたいと。

最近では、この1週間くらい前から、今度は夏場のタオルケットを支援してほしいとかというふうな要望がありましたので、あす、あさってには会津若松市のほうへ、その支援物資をお届けする予定になっております。その状況をしっかりと把握しながら対応していきたいと、支援を続けていきたいと、このように思っております。

○議長（富岡幸夫） 総務政策部長。

○総務政策部長（伊藤道郎） 人的支援につきましては、4月26日、これは大槌町のほうへ公営企業局が給水の支援に行っておりますけれども、それからこれまで延べ34名の職員が支援に赴いております。このほかに下北地域広域行政事務組合消防本部のほうから緊急消防援助隊青森県隊として、岩手県の久慈市、それから野田村のほうへ延べ30名の消防隊員が派遣されております。

また、今後7月から8月にかけて、保健師を中心としたチームが3班程度被災地へ入る予定となっております。

中長期的な部分で、その復興という関係での要請につきましては、現段階でまだないものですから、そのうちこれからその要請が来る可能性もあろうかと存じます。

以上でございます。

○議長（富岡幸夫） 27番。

○27番（齊藤孝昭） 物資、物の支援については、

市民の皆さんの協力があれば何とか支援ができると思いますが、人の支援については、やはり行政の日常業務または家族の関係、またはその他の理由で簡単に上からの命令で、はい、わかりましたと言って派遣に行ける条件が整う人はそんなに多くいないと思います。逆に自分から志願するものの、行ってからの仕事が、その志願した人の持っている能力に合わないというふうなこともいろいろなパターンがあると思います。私今の一連の話でお願いしたいことの一つに、さまざまな条件を周りでカバーしてあげて、受け入れ先というよりも、要請先のほうにできるだけ多く対応できる、こちらのむつ市側の条件を何とか整えてほしいと。先ほど言った家の事情とか、仕事の内容とかも含めて、本当は行きたくないのだけれども、命令だから行かないとだめだというふうなことにできるだけならないように配慮をしたらどうかというふうなことを思いまして、先ほどの質疑に至りましたので、ぜひ検討をして、お願いしたいと思います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） うちのほうの職員も、その意味からして自ら志願と申しますか、手を挙げて、その業務に臨んだというふうなことで、非常に心強く思っております。こちらからだれだれ行きなさいというふうなことではなくて、まず支援対策本部の中で私はお話をさせていただいたのは、とにかく困っているところに何とか職員行ってほしいというふうな要請があるわけですので、その部分では手挙げ方式を採用いたしました。その部分で、多くの職員が自ら手を挙げて被災地に赴き業務をしたというふうなことは、私自身はこういうふうな職員に対しまして、誇りに思っております。さらに、今後その業務の内容の、市長会を通じまして、例えばそういうふうな専門職、そういうふうなものの要請があれば、それにまた対応していきたいと。さまざまな業務がありますので、その

部分で被災地の支援はこれからも続けていきたいと、このように思っております。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。14番千賀武由議員。

○14番（千賀武由） いろいろお話が出たわけですが、私は以前に一般質問の中で、各避難所の点検、そしてその避難所の災害に対応する備蓄品等についてお話をさせていただいたことがございますが、災害は忘れたころに来ると言いますが、案の定災害がやってきたわけですが、それら点検、備蓄品等について、現在、市長の先ほどの報告書においては、計画的に実施すると言っていますが、私はやはりこれは急ぐべきと考えますが、いかがなものでございましょうか。

それと自家発電等、やはり分庁舎と本庁舎ですか、災害を指示するところが真っ暗では私はいけないと思うのでございまして、やはり自家発電等、分庁舎等に早目に借りてでもやってほしい、設置してほしいし、むつ市内、多くの避難所がございしますが、そちらのほうにもそういう自家発電等備蓄品等、急ぐべきと考えますので、この点についてお答えを願いたいと思います。

それで、6月5日の東奥日報の紙上で、海拔の表示が掲載されてございました。非常に目安としてはいいことですが、今回の災害でも広報の無線ですか、そちらのほうでただ高台のほうへ、消防自動車等もありましたけれども、ただ高台のほうへ避難してくださいと、そういう放送だけでございました。私は、やはりどここの高台、場所のほうへという、そういう避難する場所のほうも、これも大事かと思っておりますので、今後この海拔と一緒に各地区どここの場所を、この高台でいうそういう避難場所の表示も必要かと思っておりますので、お聞きをしたいと思っております。

それと、避難指示あるいは勧告を出した場合の避難所に避難した場合、この指揮先頭をとる方は

どなたなのか、これをお聞きしたいと思います。  
この3点についてお願いします。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） まず、避難所の点検、それから備蓄の部分でございますけれども、避難所は点検をもう一回しなければいけないと。地震というふうな形の中で、ああいうふうな津波というふうなのは、まさしくどこかの方々がよくお話ししておりますけれども、想定外というふうな形の中での千年災、1,000年に1回というふうな、そういうふうなことをだれも想定もしておりません。そういうふうな中で、これまでの避難所のあり方、私はよくむつ地区以外にもさまざまな行事にも参加をさせていただきます。その場面では、海岸沿いに避難所というふうな形の表示もされております。本当に堤防ぎりぎりのところ、西通りに行きますと、こちらから左側のほうなのですけれども、非常に海沿いに避難所がある。そういうふうなものは指示を出して、今避難所の場所というふうなこと、これをしっかりと点検を今進めております。

さらにその備蓄、この部分につきましては、今定例会に報告をさせていただいておりますけれども、事前の審査というふうなことで議長からおしかりを受けるかもわかりませんが、その部分においては専決で非常食、これを4,500食準備をいたしました。この部分は、その根拠になるものは、今回の避難の段階で、避難所に一晩お過ごしをした方々が約1,600人、この部分で、第1回目の非常食というふうなことで、災害協定を結んでいる大型店等々のお力をいただきましたけれども、さまざまな停電もあります。そういうふうなことで、しっかりと期待をしたものの対応がなかなか厳しい状況でございました。それでも多くのその協定を結んでいる大型店のほうから、パンとかおにぎりだとか牛乳だとか、まずそういうふうなものの手当てができました。それを1回目配布

いたしました。そこで、次に自衛隊のほうから協力の申し出がございました。缶詰、缶飯、五目御飯と鶏御飯ですか、このくらいの大きさの直径15センチくらいの缶飯、そしておかずとしてイワシ缶、それをただちに総監部のほうでボイルしていただき、1,000食ずつこちらのほうに提供がありました。夜7時ごろだったでしょうか、届きまして、そしてまた毛布、ストーブ、そういうふうなものが一斉に支援物資が海上自衛隊のほうから届きまして、それを第2回目として8時ごろまでにお届けをさせていただきました。

そういうふうなことで、まず非常食、これを準備しなければいけないというふうなことで4,500食の非常食を専決、今定例会の中でご審議をいただくわけですが、そういうふうな形で対応して、着々とその準備を今進めております。

また、避難所の発電機、それから庁舎の発電機、そういうふうなものも、今補正予算で上程をさせていただいておりますので、ご審議をいただきたいと、このように思っております。

6月5日の海拔表示の部分、先ほどお話をさせていただきましたが、放送の場合は、やはり高台へというふうな表現になるのではないかと、このように思います。より高台にというふうなことになろうかと思えます。例えば地名を上げてどこどことお話をしますと、その地区の人は理解は進むかと思うのですけれども、さまざまな形での交流人口もあります。そういうふうな意味では、より高台へ、高台へというふうな表現が一番私はふさわしいのではないかと、このように思います。その地区の方々は、十分その部分での高いところ、これは今回の海拔表示によって、そしてその海拔表示も避難所にこれから、この避難所はどのくらいの海拔であるかというふうなことも表示をいたしますので、その部分をしっかりと頭にすり込んでいただいて、避難に対しての気持ち

をしっかりとっていただきたいと。その場所についても持っていただきたいなど、このように思うところであります。

○議長（富岡幸夫） 総務政策部長。

○総務政策部長（伊藤道郎） 避難所の指揮者というようなことでございますけれども、避難所の開設につきましては市が行うというようなことでございますので、その避難施設に行った市の関係者が責任者になるものと思います。市の職員につきましても、施設の関係者等と十分に連携をとりながら避難施設を運営していくというようなことになろうかと思えます。

以上でございます。

○議長（富岡幸夫） 14番。

○14番（千賀武由） 市長からは、ありがとうございました。

3点目の、この避難所の指揮先頭でございますけれども、ただいま総務政策部長は市の関係者ということでございましたけれども、私大畑の上野地区のほうを例えて今話すのですけれども、地震が起きた夜は、全部婦人会さんとか、私のほうからお米等を持ち出して、そしておにぎり等をつくって、さらに消防署の方々と一緒にひとり世帯を見回り、そこに食事を運びました。そして、市長が午前来たのは、次の日の朝でございました。それから配置されたのが昼からです、職員。それまでに、町内会長さんがおったのですけれども、その間指揮命令がされなく、私もいろいろな方面を回りたかったのですけれども、これは上野地区のほうの関係もやらなければならないと思ってやったのですけれども、最終的にはあなたが指揮する、そのようにも言われているのです。そういうことで私は指揮命令者はどなたかと聞いたわけでございますけれども、やはり市職員等を早目にきちんと配置しなければこのようなごたごたが起きるような感じもしますので、だれがどのように庁舎と

連絡をとるか、少ない職員ではございますけれども、我々も全面的に協力はしなければならないのですけれども、そのような言われ方もしてございますので、今後そのようなことについても十分配慮してほしいと、そのように思いますけれども、いかがでしょう。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 当日は、14時46分でございます、職員は本庁舎、そして分庁舎というふうな形で、ちょうど議会の休憩中の形でさまざまな情報がありました。そして、職員はとにかく分庁舎は分庁舎で避難所と、夜の部分で避難所というふうな形で対応をいたしたつもりでございます。

上野地区、私翌日お邪魔をさせていただきました、千賀議員も一生懸命赤十字奉仕団また婦人会の方々と炊き出しに当たっていたと、心から感謝申し上げる次第でございます。その部分において、大畑地区の消防団の方々、非常に避難所の維持に自らの発電機を持って行って発電をしている場所もございました。そういうふうな部分で、これからそういうふうな避難所に向けての備蓄、それから対応、こういうふうなものはしっかりとらなければいけないものと、このように思っております。

ただ、非常に職員が少なくなってきております。その部分で、上野地区の町内会のほうは、町内会長さんがかぎをあけてというふうなことで今聞いておりますけれども、職員のほうの派遣、さまざまな部分ではこれから課題としてしっかりとらえていきたいと、このように思っております。

ただ、その部分で、職員も例えば津波に向かっていくというふうな状況になるわけでございます。ですから、やはりその部分では、こちらのほうから職員の派遣もいたしました。一方、津波が押し寄せてくるところに職員が向かっていくというふうな現実もあるわけでございますので、その

部分においては、自らの身を守るということがまず優先されることでありますし、その中でしっかりと分庁舎のほうは分庁舎で対応する、しかしながら分庁舎の職員もかなり減ってきております。そういうふうなところの対応方、これからしっかりと研究、検討を重ねていきたいと、このように思います。

○議長（富岡幸夫） 14番。

○14番（千賀武由） ありがとうございます。

みんな口ではうまく言っているようでございますが、いざ災害になると、やはり組織のほうも、これはなかなか完全に指揮先頭うまくいくとは考えられないと、私はそう思います。そういうことで、日ごろの訓練大事でございますが、我々市民もそうでございますが、行政もこの災害の恐ろしさを再認識して、自分の命は自分で守るという気持ちと知識を学んで、ふだんからそのような準備も必要かなと思ひまして、発言させていただきました。

終わります。ありがとうございます。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

次は、脇野沢赤坂地区における不法投棄についての報告に対し、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

次は、公害対策に関する報告の部分に対し、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

次に、報告以外の公害対策に関することについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

次は、放射性廃棄物保管施設における安全対策

に関する報告に対し、質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

次に、報告以外の放射性廃棄物保管施設における安全対策に関することについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

次は、交通問題対策に関する報告の部分に対し、質疑ありませんか。5番横垣成年議員。

○5番（横垣成年） 下北半島縦貫道路のことについてであります。今回福島でああいう原発事故が起こって、下北も原発半島になりつつあるというところで、ちょっと道路の状況を改めて考えると、一番東通原子力発電所に近いところ、近川とか中野沢のところは国道279号しかない。そこで例えば事故があって詰まってしまうと、もう通り道がないというふうな状況がありますので、これは住民からもいろいろ聞いておりましたが、そういった場合に別の通れる道路を通してほしいというのをかなり言われておまして、そういう意味ではちょっと下北半島縦貫道路、むつ工区を先行してやっておりますけれども、その原発との関係の避難道路という意味で考えれば、やっぱり今1本しかない道路を2本にするという意味で考えれば、やっぱり中野沢、近川部分の道路を早くやるというふうな形の要望もしてほしいなというふうに思うのですが、そこのところのちょっと考え方をお聞きしたいなというふうに思います。

また、国道279号の国直轄移管というのも書いておりますので、そこの下北半島縦貫道路がそうならなかった場合は、例えば国道279号をもっと充実するだとか、例えば農免道路、県道になりますけれども、そういう形でも早く2本道路を通すというふうな形の考え方ができないかどうかというのをちょっと市長のほうにもお聞きしたいな

というふうに思います。

○議長（富岡幸夫） 市長。

○市長（宮下順一郎） 避難道路的なことでは、横垣議員と全く気持ちは同じでございます。その部分においても、下北半島縦貫道路早期完成、そしてまた国道279号国直轄というふうなこと、これらは議会とともども力を合わせていただきまして、国に対し強く要望を継続していきたいと。ますますそういうふうな意味では、横垣議員もひっくるめまして、さまざまな政党の総力を挙げていただき、この部分でお力添えをいただきたいなと思っております。お願いします。

○議長（富岡幸夫） 5番。

○5番（横垣成年） 基本的にはそういう立場でよろしいのですが、ただ早く下北半島縦貫道路を通せというのだけ言うと、全部をつくらなくてはいけないかなというふうに多分国のほうは受け取ると思うのです。ところが、今何か事故あれば近川とか中野沢のところかもう詰まってしまうと、むつ市民の避難する道路がないと。老部のほうを通れば避難できるというのがありますけれども、そうなると大変だというので、やっぱりこのところを強調して、ぜひ早くつくって進めてもらいたいという立場で取り組んでもらいたいなというふうに思います。

○議長（富岡幸夫） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

次に、報告以外の交通問題対策に関することについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

以上で行政報告を終わります。

◎日程第7～日程第26 議案一括上程、

## 提案理由説明

○議長（富岡幸夫） 次は、日程第7 議案第20号 平成23年度むつ市一般会計補正予算から日程第26 報告第25号 専決処分した事項の報告及び承認を求めることについてまでの20件を一括議題といたします。

市長から提案理由の説明を求めます。市長。

（宮下順一郎市長登壇）

○市長（宮下順一郎） ただいま上程されました1 議案19報告について、提案理由及び内容の概要をご説明申し上げ、ご審議の参考に供したいと存じます。

最初に、議案第20号 平成23年度むつ市一般会計補正予算についてであります。今回提案いたします補正予算は、2億6,773万8,000円の増額補正でありまして、これにより補正後の歳入歳出予算総額は348億8,392万7,000円となります。

まず、歳出についてであります。総務費には、東北新幹線七戸十和田駅周辺の5市町村による環境に優しい観光に着目したテレビ番組の製作に係る負担金及び災害等の緊急時に各種情報を発信するエフエム放送の緊急放送設備購入に要する経費を計上しております。

民生費には、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるための地域密着型特別養護老人ホーム新設事業に対する補助金を計上しております。

消防費には、災害対策本部、各避難所及び災害発生時に高齢者、障害者等の要援護者を受け入れるために設置する福祉避難所に備蓄する防災関連備品等の整備に要する経費を計上しておりますほか、広報機能を強化するための防災行政用無線整備に要する経費を増額しております。

教育費には、城ヶ沢小学校の閉校式典等に係る補助金、東日本大震災により開催地が当市に変更となった東北高等学校フェンシング選手権大会に

係る補助金及び釜臥山スキー場に配備しているゲレンデ整備車の老朽化に伴う車両更新に要する経費を計上しておりますほか、市内小・中学校の放送設備等の改修に要する経費を増額しております。

災害復旧費には、東北地方太平洋沖地震により被害を受けた田名部中学校体育館の排煙窓及びむつ来さまい館の内壁の改修に要する経費を計上しております。

次に、歳入についてであります。県支出金には歳出との関連において補助見込額を、寄附金には一般寄附金を、諸収入には助成見込額を、市債には各事業との関連において借入見込額を計上しておりますほか、補正財源を調整するため、財政調整基金を取り崩しております。

なお、昨年8月27日開会のむつ市議会第205回定例会でお示しております赤字解消計画では、平成22年度決算において累積赤字を約8,800万円まで圧縮し、平成23年度決算において赤字を解消するものとしておりましたが、内部経費の節減、地方交付税の増等により、平成22年度末において約4億円の決算剰余金が生じる決算見通しとなり、計画より1年先行しての赤字解消の達成が確定的となっております。

決算の詳細につきましては、次回の定例会においてご報告いたしますが、市民の皆様及び議員各位のご協力に心から感謝申し上げますとともに、今後も持続可能な財政運営の推進に努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りたいと存じます。

次に、報告第7号についてであります。これは、平成22年度むつ市一般会計において設定しておりました繰越明許費について、繰越計算書を調製しましたので、報告するものであります。

次に、報告第8号から報告第11号までについてであります。これらは、平成22年度むつ市一般

会計、平成22年度むつ市国民健康保険特別会計、平成22年度むつ市介護保険特別会計及び平成22年度むつ市下水道事業特別会計において、東北地方太平洋沖地震の影響により、年度内に完了しなかった事業に係る事故繰り越しについて報告するものであります。

次に、報告第12号についてであります。これは、平成22年度むつ市水道事業会計において継続費を設定しております上水道整備事業に係る繰り越しについて報告するものであります。

次に、報告第13号及び報告第15号についてであります。これらは、本年1月24日、むつ市川内町の特別養護老人ホーム敷地内で発生した自動車事故及び昨年12月27日、むつ市大畑町木野部地内の国道で発生した自動車損傷事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて、議会の委任をいただいているところにより、専決処分したものであります。

次に、報告第14号についてであります。これは、平成22年度むつ市一般会計補正予算についてでありまして、起債の許可申請に係る地方債等の補正に急を要したことから、事業費の確定及び決算見込みにより専決処分したものであります。

次に、報告第16号についてであります。これは、地方税法施行令の一部改正に伴い、平成23年度の課税事務に関連することから、むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を専決処分したものでありまして、基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額の限度額の引き上げについて改正しております。

次に、報告第17号についてであります。これは、健康保険法施行令等の一部改正に伴い、本年4月からの保険給付額に関連することから、むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例を専決処分したものでありまして、出産育児一時金の支給額について、3月まで暫定的に引き上げていた

特例措置を恒久化するものであります。

次に、報告第18号から報告第20号までについてであります。これらは、関係省令の一部改正に伴い、省令の改正時期との整合性を保つため、むつ市半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例、旧川内町、旧大畑町及び旧脇野沢村過疎地域における固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例及びむつ市承認企業立地計画に従って設置される施設に係る固定資産税の特例措置に関する条例の一部を改正する条例を専決処分したものでありまして、固定資産税の不均一課税または課税免除に係る適用期限を延長するものであります。

次に、報告第21号についてであります。これは、平成22年度むつ市後期高齢者医療特別会計補正予算についてでありまして、保険基盤安定制度負担金の確定に伴い、専決処分したものであります。

次に、報告第22号についてであります。これは、平成22年度むつ市老人保健特別会計補正予算についてでありまして、老人医療給付費の確定に伴い、専決処分したものであります。

次に、報告第23号についてであります。これは、平成23年度むつ市一般会計補正予算についてでありまして、東日本大震災の被災地及び被災者に対する迅速な支援並びに市内における被害等への対応に急を要したことから、関係予算を専決処分したものであります。

次に、報告第24号についてであります。これは、地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い、東日本大震災に係る税制上の特例を平成23年度から適用するため、むつ市税条例の一部を改正する条例を専決処分したものでありまして、震災による資産の損失に係る雑損控除額等の特例、住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特例及び固定資

産税の特例の適用に係る申告等について改正するほか、条文整備をしております。

次に、報告第25号についてであります。これは、平成23年度むつ市国民健康保険特別会計補正予算についてでありまして、平成22年度予算の歳入に5億1,002万3,000円の不足を生じる見込みとなったことから、これを補てんする措置として、平成23年度予算の歳入を繰上充用するため、専決処分したものであります。

以上をもちまして、上程されました1議案19報告について、その大要を申し上げましたが、細部につきましては、議事の進行に伴いましてご質問により詳細ご説明申し上げます。

何とぞ慎重ご審議の上、原案どおり御議決及びご承認賜りますようお願い申し上げます。

○議長（富岡幸夫） これで、提案理由の説明を終わります。

### ◎散会の宣告

○議長（富岡幸夫） 以上で、本日の日程は全部終わりました。

お諮りいたします。6月8日から10日までと13日及び14日は議案熟考のため休会したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（富岡幸夫） ご異議なしと認めます。よって、6月8日から10日までと13日及び14日は議案熟考のため休会することに決定いたしました。

なお、6月11日及び12日は休日のため休会とし、6月15日は議案質疑、委員会付託、一部採決を行います。

本日はこれで散会いたします。

午前11時28分 散会

議 席 表

6 番	澤 藤 一 雄	議員
7 番	石 田 勝 弘	議員
9 番	目 時 睦 男	議員
10 番	野 呂 泰 喜	議員
16 番	大 瀧 次 男	議員
17 番	富 岡 修	議員
18 番	佐々木 隆 徳	議員
19 番	半 田 義 秋	議員
26 番	菊 池 広 志	議員
27 番	斉 藤 孝 昭	議員